

デジタルアーツ株式会社
(証券コード 2326)



2020年3月期 第1四半期決算
(2019年4月1日～2019年6月30日)

補足説明資料
2019年7月31日 (水)

2020年3月期 第1四半期決算補足説明資料

決算のポイント

① 2019年6月より「FinalCode」 Ver. 6 の提供を開始

- 既存ユーザーや潜在的なお客様からの要望が高かった、ファイルの自動暗号化機能を実装し、「生データ」が存在しない世界を実現
- 社内閲覧ユーザーの無償化や購入ライセンス数に応じたボリュームディスカウントを導入

② 「DigitalArts@Cloud」のラインアップ拡充

- 「DigitalArts@Cloud」については、ラインアップに「FinalCode@Cloud」「Chat@Cloud」を加え、セキュリティを意識させない『無菌室』化された世界を、クラウドでも実現

③ 「働き方改革」「教育現場の変革期」を背景として、 「i-FILTER」ブラウザー&クラウドの売上が拡大

- 企業向け市場においては、働き方が多様化し、タブレットやノートパソコン等の会社支給端末を社外に持ち出し、業務を行う事が増加しており、場所・場面を問わずWebアクセス制御が可能となる「i-FILTER」ブラウザー&クラウドの売上が拡大
- 公共向け市場においては、ICT化により教育現場は変革期を迎え、1人あるいは少人数の生徒が1台のタブレットを活用できる環境整備が進んでおり、タブレット端末に対して高度なセキュリティ対策が可能となるだけでなく、学習に最適な環境構築が可能となる情報提供サービスが付加された「i-FILTER」ブラウザー&クラウドの売上が拡大

2020年3月期 第1四半期決算補足説明資料

連結決算ハイライト

連結売上高

売上高： **1,249** 百万円 (前期比 +31百万円 / +2.6%)

前連結会計年度からの継続案件を中心に案件獲得が進み、
対前年同期比増収を確保

営業利益

営業利益： **413** 百万円 (前期比 +118百万円 / +40.0%)

前連結会計年度に実施した、海外戦略の見直しに伴う
経営資源の選択と集中効果により、収益性が向上

経常利益

経常利益： **411** 百万円 (前期比 +117百万円 / +39.8%)

営業利益の成長に伴い、経常利益ベースでも増益となる

親会社株主に帰属する
四半期純利益

四半期純利益： **280** 百万円 (前期比 +105百万円 / +60.2%)

海外子会社の清算に伴い、税金費用が縮小し、純利益は大幅増益となる

連結業績

(単位：百万円)

項目	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	前期比
売上高	1,217	1,249	+2.6%
売上総利益	927	962	+3.8%
販売管理費	632	548	△13.2%
営業利益	295	413	+40.0%
経常利益	294	411	+39.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	175	280	+60.2%
ROE	2.8%	3.6%	—

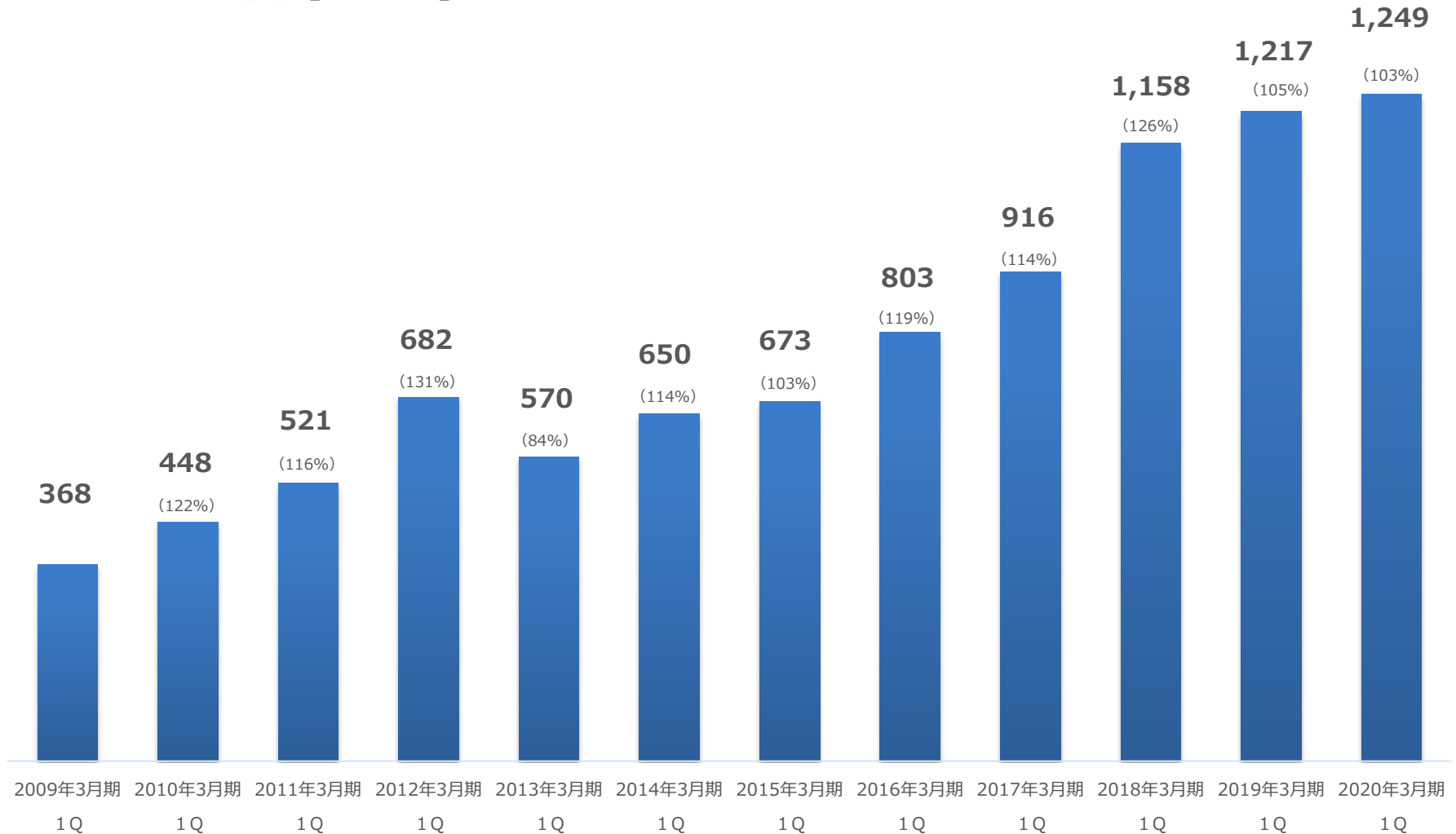
個別（単体）業績

(単位：百万円)

項目	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	前期比
売上高	1,204	1,211	+0.6%
売上総利益	926	950	+2.6%
販売管理費	543	517	△4.8%
営業利益	382	433	+13.3%
経常利益	382	432	+13.0%
四半期純利益	263	297	+12.9%
ROE	4.1%	3.9%	—

(単位：百万円)

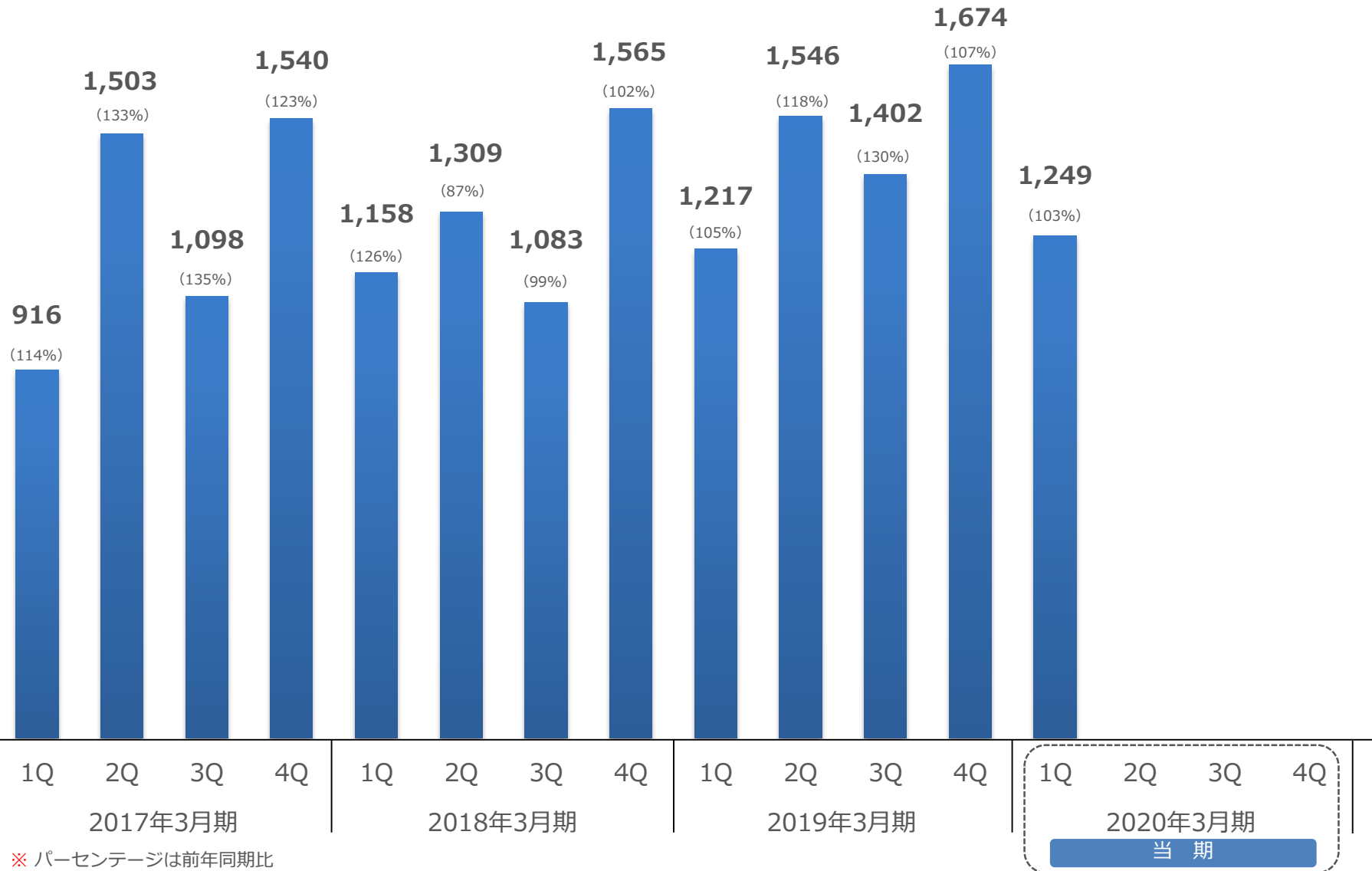
引き続き増収確保



※ パーセンテージは前期比

当期についても、対前年同期増収でのスタートとなる

(単位：百万円)



※ パーセンテージは前年同期比

- 前連結会計年度に実施した、海外戦略の見直しに伴うグループ再編による経営資源の選択と集中効果により販売費及び一般管理費が縮小。収益性が大幅に改善

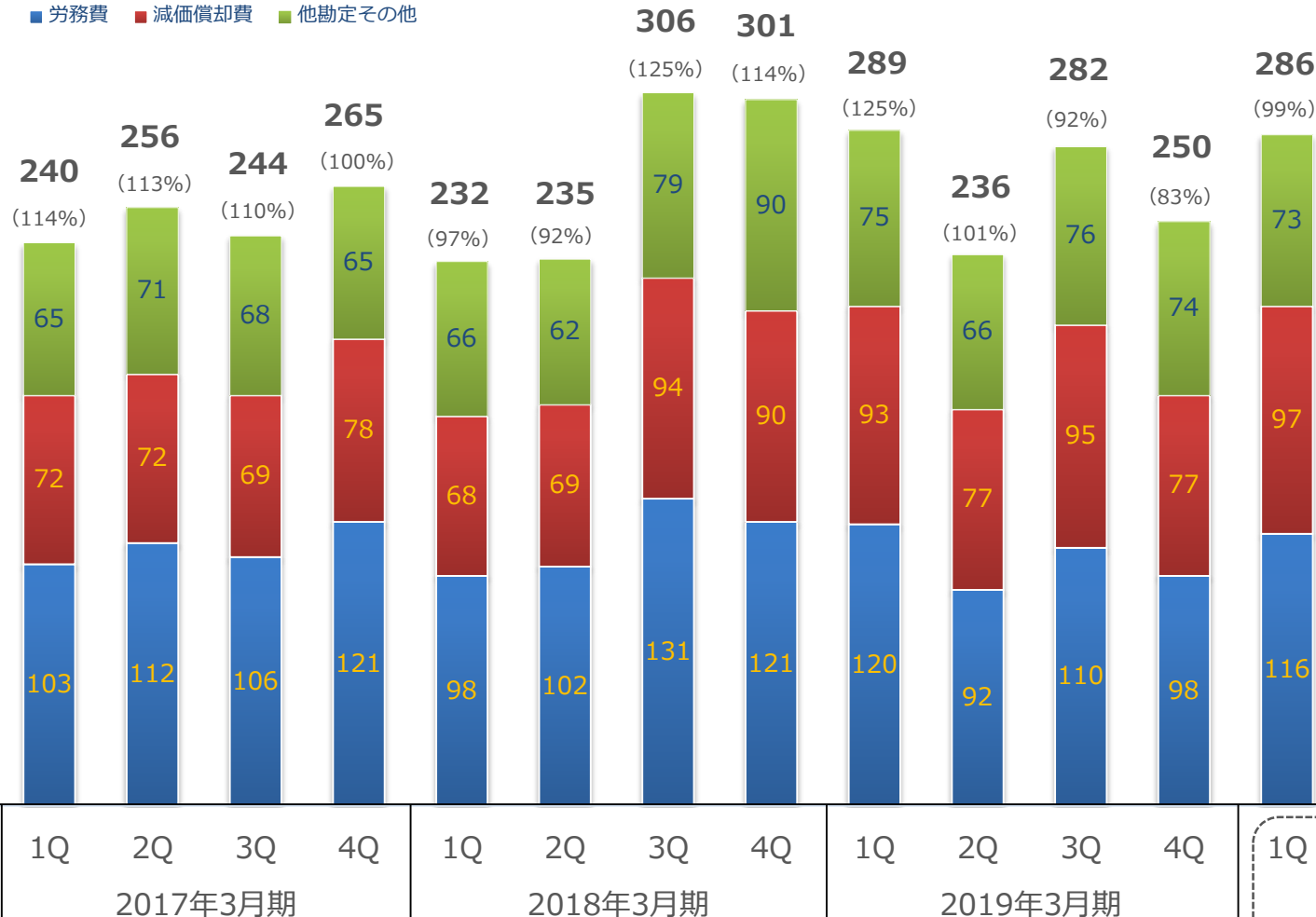
(単位：百万円)

項目	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	前期比	主な増減要因
売上原価	289	286	△3	
労務費	120	116	△4	
減価償却費	93	97	+4	
他勘定振替 その他製造原価	75	73	△2	
販売費及び一般管理費	632	548	△83	
人件費	273	263	△10	
広告宣伝費	121	70	△51	前期は広告宣伝費を戦略的に前倒し活用したため
その他	236	215	△21	米国子会社の清算に伴い縮小

新製品のリリースに伴い減価償却費が増加

(単位：百万円)

■ 労務費 ■ 減価償却費 ■ 他勘定その他

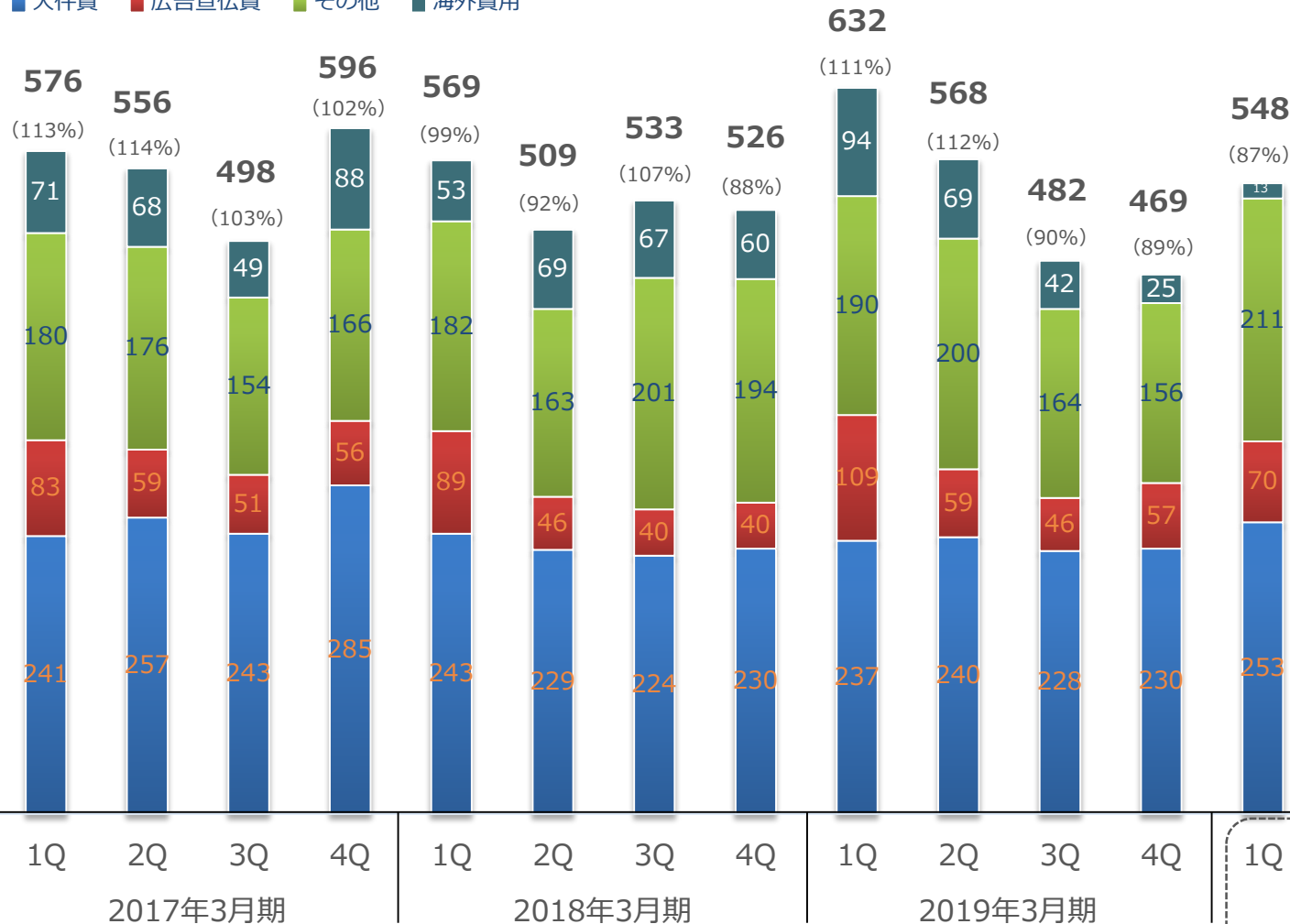


※ パーセンテージは前年同期比

海外戦略の見直しにより、海外費用が大幅に縮小

■ 人件費 ■ 広告宣伝費 ■ その他 ■ 海外費用

(単位：百万円)



※ パーセンテージは前年同期比

2020年3月期 第1四半期決算補足説明資料

市場別詳細

- 連結全体で +2.6% の成長
- 企業向け市場は、「i-FILTER」ブラウザ & クラウドの好調により +5.4% の成長
- 公共向け市場は、前期獲得した規模の大きな案件の影響により △6.3% と出遅れ
- 家庭向け市場は、引き続き青少年のフィルタリング導入が進み +16.4% の成長

連結売上高

売上高： **1,249** 百万円 (前期比 +31百万円 / +2.6%)

企業向け市場

売上高： **725** 百万円 (前期比 +37百万円 / +5.4%)

公共向け市場

売上高： **383** 百万円 (前期比 △25百万円 / △6.3%)

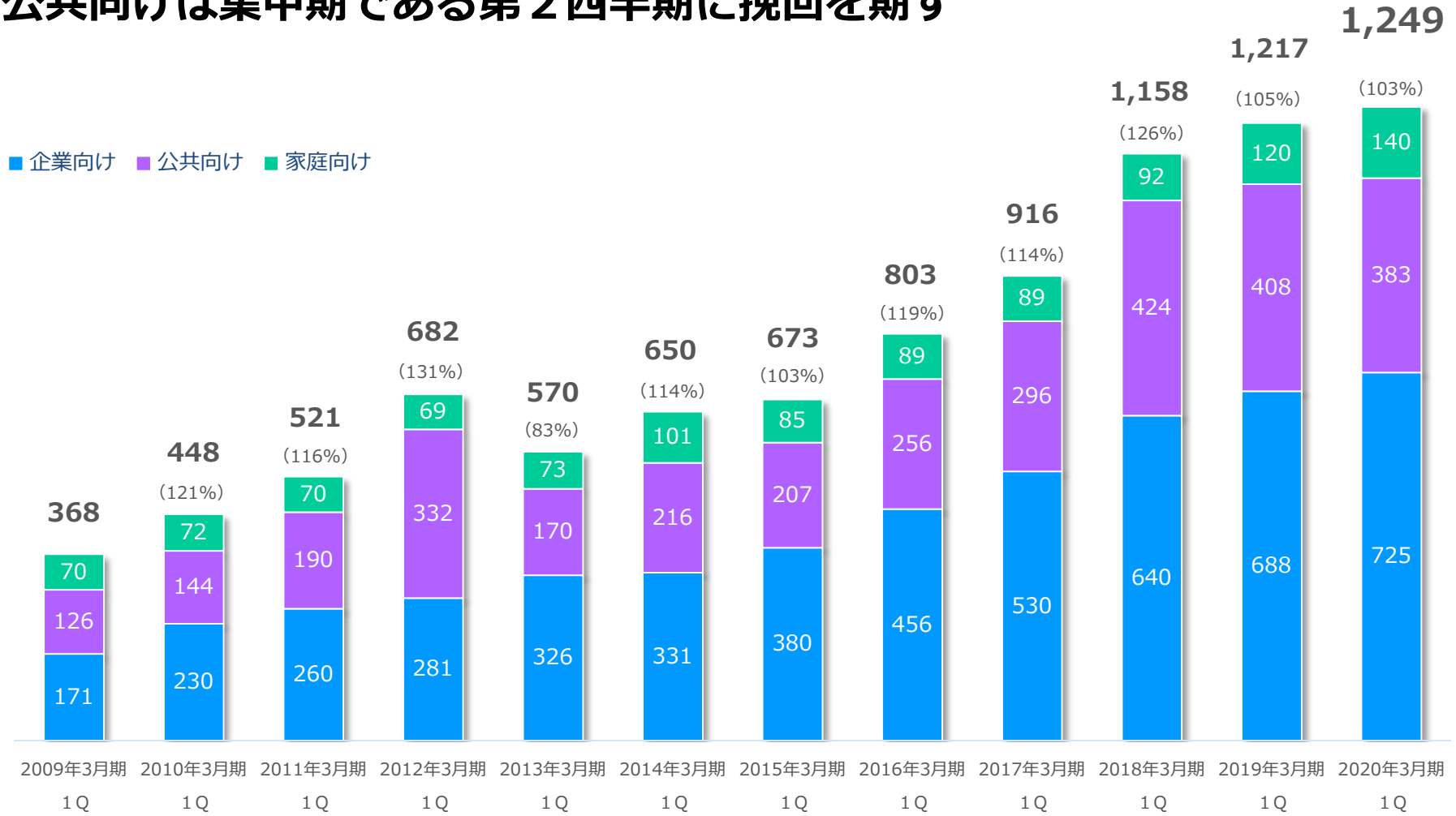
家庭向け市場

売上高： **140** 百万円 (前期比 +19百万円 / +16.4%)

企業向け、家庭向け堅調

公共向けは集中期である第2四半期に挽回を期す

(単位：百万円)

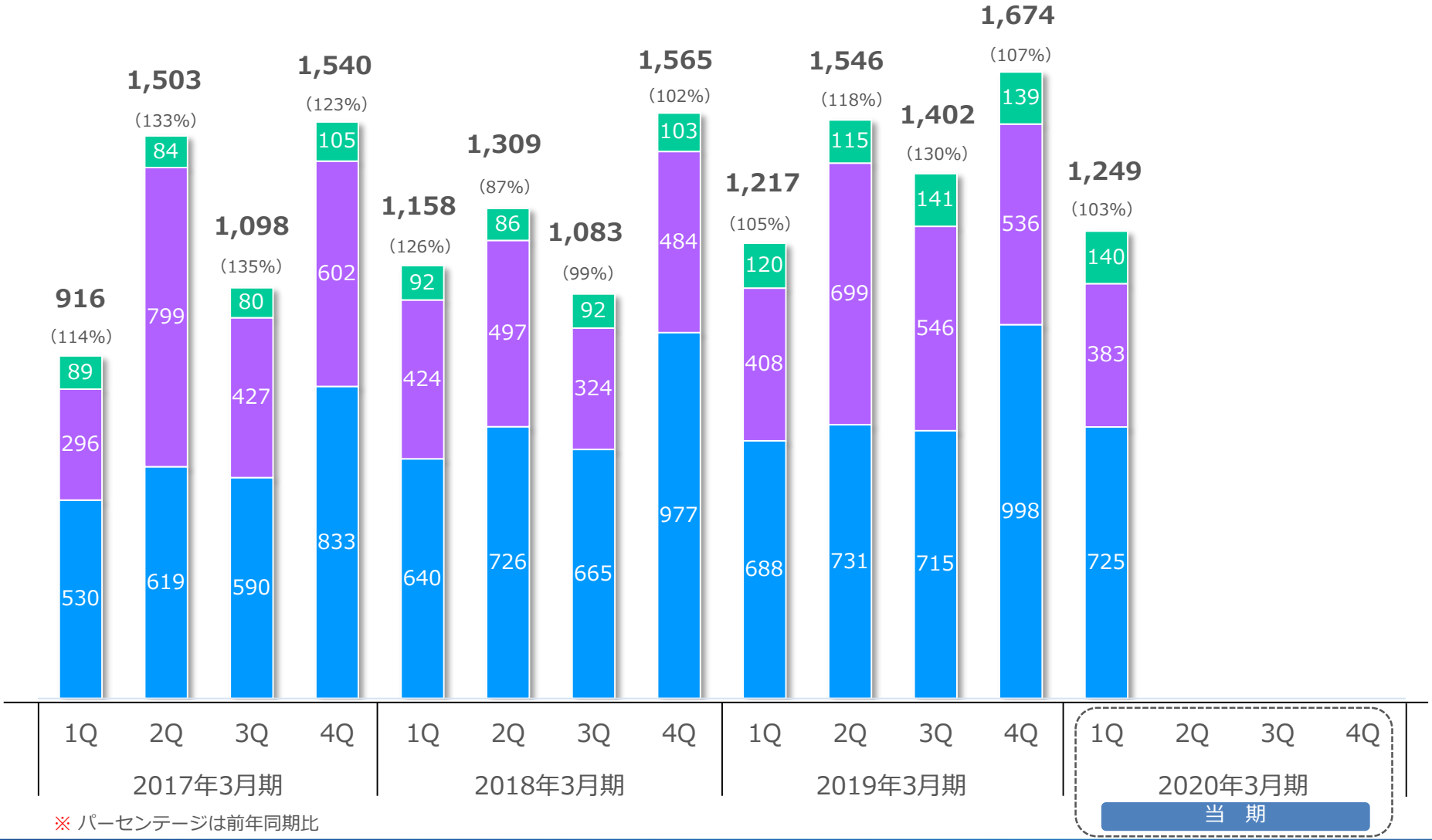


※ パーセンテージは前期比

企業向け、家庭向け堅調で増収を確保

(単位：百万円)

■ 企業向け ■ 公共向け ■ 家庭向け



※ パーセンテージは前年同期比

2020年3月期 第1四半期決算補足説明資料

企業向け市場

- 前連結会計年度からの継続案件等を中心に案件獲得が進み、主力製品である「i-FILTER」「FinalCode」の売上が順調に推移
- 働き方が多様化し、タブレットやノートパソコン等の会社支給端末を社外に持ち出し、業務を行う事が増加しており、場所・場面を問わずWebアクセス制御が可能となる「i-FILTER」ブラウザー＆クラウドの売上が拡大

i-FILTER
Series

前年同期比 **109.8 %**



m-FILTER
Series

前年同期比 **89.5 %**



FINALCODE 前年同期比 **128.3 %**



2020年3月期 第1四半期決算補足説明資料

公共向け市場

- 前年同期の売上を牽引した金額的規模が大きい受注案件の反動減により、公共向け市場全体としては前年同期に対して出遅れ
- ICT化により教育現場は変革期を迎え、1人あるいは少人数の生徒が1台のタブレットを活用できる環境整備が進んでおり、タブレット端末に対して高度なセキュリティ対策が可能となるだけでなく、学習に最適な環境構築が可能となる情報提供サービスが付加された「i-FILTER」ブラウザ＆クラウドの売上が拡大

i-FILTER
Series

前年同期比

94.8 %



m-FILTER
Series

前年同期比

81.6 %



FINALCODE

前年同期比

133.1 %



2020年3月期 第1四半期決算補足説明資料

家庭向け市場

- 拡大する青少年のスマートフォン利用に対してフィルタリング導入が進んだ事、複数年パッケージ製品や複数の端末で利用可能な「i-フィルター® for マルチデバイス」の直販が順調に推移した事等により、売上が成長

パソコン版

前年同期比 **99.3 %**

ゲーム機/TV版

前年同期比 **98.3 %**

モバイル端末版

前年同期比 **141.3 %**

i-フィルター



2020年3月期 第1四半期決算補足説明資料

2020年3月期 通期業績予想

2020年3月期 連結業績予想

項目	2019年3月期実績	2020年3月期計画	成長率/増減率
売上高	5,841 百万円	6,800 百万円	16.4 %
売上総利益	4,781 百万円	5,450 百万円	14.0 %
販売管理費	2,152 百万円	2,150 百万円	△0.1 %
営業利益	2,629 百万円	3,300 百万円	25.5 %
経常利益	2,630 百万円	3,300 百万円	25.4 %
親会社株主に帰属する当期純利益	1,961 百万円	2,277 百万円	16.1 %
1株当たり配当金	48.00 円	50.00 円	—

2020年3月期 個別業績予想

項目	2019年3月期実績	2020年3月期計画	成長率/増減率
売上高	5,752 百万円	6,600 百万円	14.7 %
売上総利益	4,724 百万円	5,400 百万円	14.3 %
販売管理費	1,949 百万円	2,100 百万円	7.7 %
営業利益	2,774 百万円	3,300 百万円	18.9 %
経常利益	2,777 百万円	3,300 百万円	18.8 %
当期純利益	1,784 百万円	2,290 百万円	28.3 %

■ 配当について

株主の皆様に対する利益還元につきまして、以下の通り計画しております

2020年3月期の目標配当性向を連結当期純利益の30.5%

2020年3月期年間剰余金配当予想額は **1株当たり 50.00円**

	1株当たり配当金（円）			連結配当性向
	中間	期末	合計	
2019年3月期	18.00	30.00	48.00	34.0%
2020年3月期（予想）	25.00	25.00	50.00	30.5%

本プレゼンテーション資料に記載されている計画、戦略、財務的予測のうち歴史的事実でないものは、将来の見通しに対する記述であります。本見通しは、当社経営陣が現在入手可能な情報に基づき判断したもので、環境等の変化により大きく見通しの変動する可能性があり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。今後、重要な変化がある場合は適宜開示します。

本プレゼンテーションの基本的な数値の記載は、一部を除き百万円未満を切り捨てて表示しています。

- デジタルアーツ、DIGITAL ARTS、i-FILTER、info board、ARS、Active Rating System、ACTIVE RATING、ZBRAIN、D-SPA、SP-Cache、NET FILTER、White Web、m-FILTER、m-FILTER MailFilter、m-FILTER Archive、m-FILTER Anti-Spam、m-FILTER File Scan、Mail Detox、FinalCode、i-フィルター、DigitalArts@Cloud、Chat@Cloud、Dアラート、Dコンテンツ、当社・当社製品関連の各種ロゴ・アイコンはデジタルアーツ株式会社の商標または登録商標です。
- その他、記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

DigitalArts®

-より便利な、より快適な、より安全な
インターネットライフに貢献していく-